

省力化で注目を集める 「スマート農業」の現状と展望



農作業にICT（情報通信技術）を使った「スマート農業」が、管内の現場でも徐々に進んでいる。日本有数の大規模農業地帯の十勝だが、1戸当たりの農地の拡大や農業者の高齢化などで労働力不足の課題に直面。作業省力化や効率化が図れるICT化は、馬耕がトラクターに代わった機械化に次ぐ革命になると目されている。スマート農業は十勝に適性があるのか、導入をどう考えるべきか―。研究者とJA、生産者の3人に語ってもらった。

【出席者】

- ・帯広畜産大学畜産学部教授 佐藤 禎稔氏
- ・畑作農家 本田 英樹氏
(音更町在住)
- ・JA士幌町農産課長 仲野 貴之氏

【司会】

十勝毎日新聞社編集局長 末次 一郎